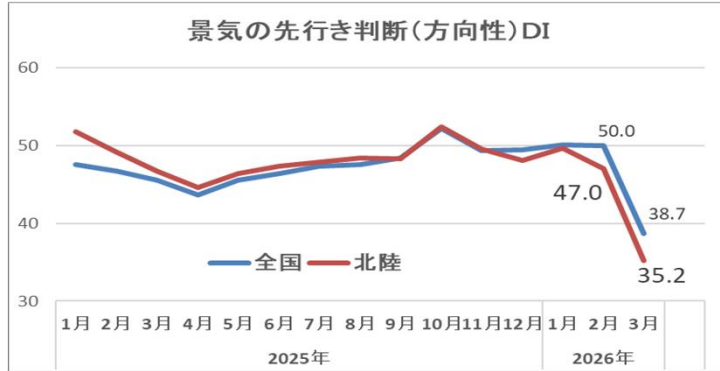


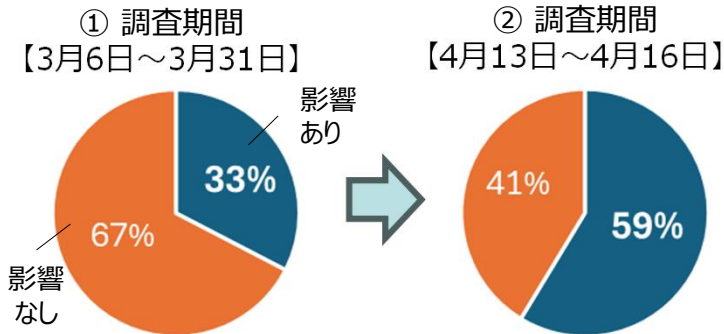
中東情勢の影響

1. 景気ウォッチャー調査（北陸）



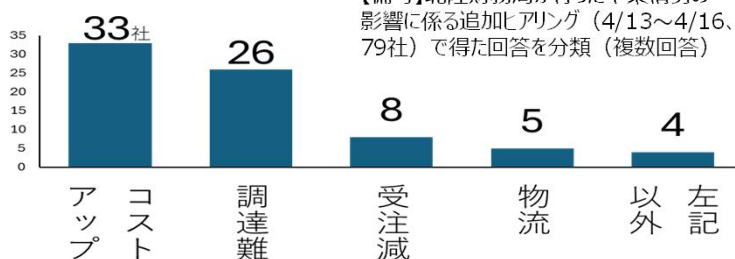
【出所】内閣府景気ウォッチャー調査（R8年3月、季節調整値）R8.4.8公表

2. 中東情勢の影響（変化）



【備考】北陸財務局が行った①管内経済情勢報告を取りまとめるにあたって実施したヒアリング（3/6～3/31、111社）、②中東情勢の影響に係る追加ヒアリング（4/13～4/16、79社）について、①②ともに対象であり比較可能な先である46社について集計したもの。なお、本資料2.～4.の調査結果は管内企業全体の状況を網羅した調査結果ではない。

3. 具体的な影響



【備考】北陸財務局が行った中東情勢の影響に係る追加ヒアリング（4/13～4/16、79社）で得た回答を分類（複数回答）

4. ヒアリング結果 [中東情勢の影響に係る追加ヒアリング（4/13～4/16、79社）]

(1) 既に発生している影響

■ コストアップ、調達難

- ✓ 石油由来の原材料が軒並み値上がりしており、ひと月に2回値上がりしているものもある【繊維】
- ✓ A重油をはじめエネルギーや原材料価格が上がっている【卸売】
- ✓ 道路舗装用のアスファルトの値段が上がっている。従来15,000～20,000円/tで推移していたものが、中東情勢の変化以降、2,000～3,000円/t上昇【石油製品製造】
- ✓ 塗料を希釈するためのシンナーが調達困難となっているほか、塗料自体も入荷が遅れ遅れになっている【建設】
- ✓ 一部の梱包資材についてメーカーから供給困難との話があった【非鉄金属】

■ 受注減

- ✓ 国内自動車メーカーが中東向けを減産しているため、当社の売上げも4月は若干減少する見込み【自動車部品】

■ 物流

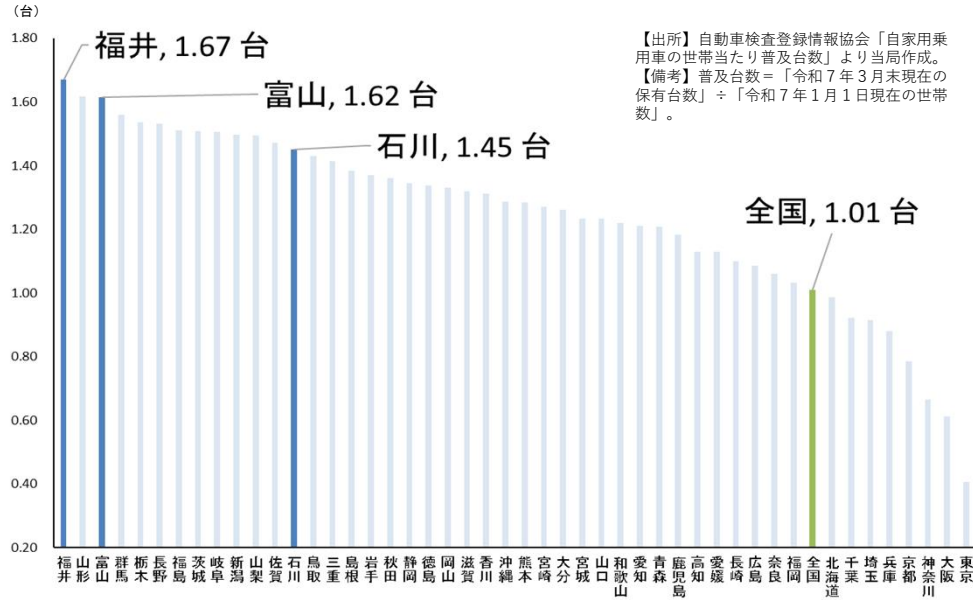
- ✓ 中東向けの輸出について、従来ルートの物流が止まっているので、2月出荷分は、ホルムズ海峡の手前の港から陸路で運んだ【繊維】

(2) 今後の懸念等

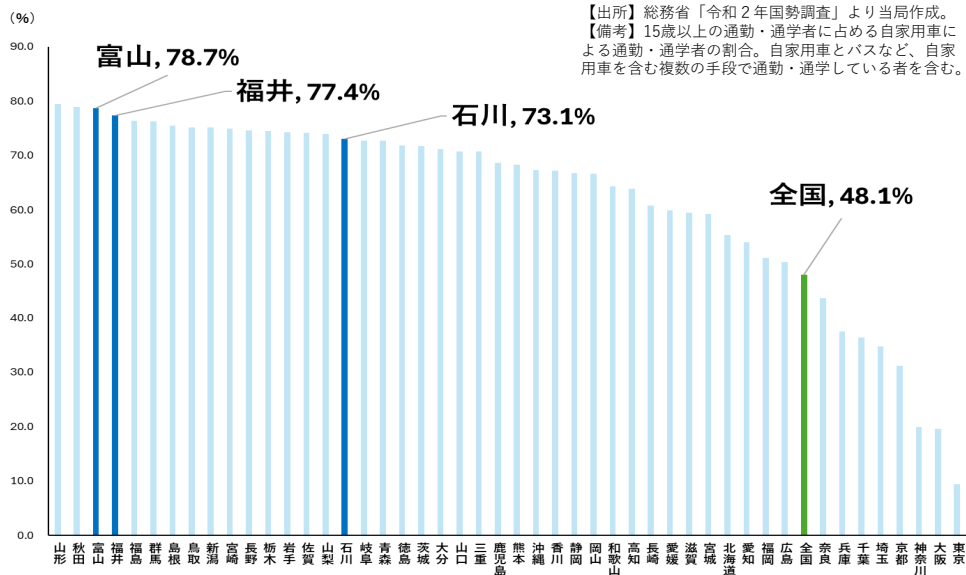
- ✓ メーカーから、5～7月にかけて日用品の値上げが濃厚との情報がある【小売】
- ✓ 混乱が長期化しガソリン価格が上がることがあると、外出を控える動きが懸念される【観光地】
- ✓ **3月時点では、重油の調達の見通しが立たないために5月からの操業停止を懸念していたが、現時点では5月分までの調達にメドが立っている。ただし、調達先からは6月以降の重油の供給は未定と言われている**【繊維】
- ✓ **先行きが不透明であるため、各社とも疑心暗鬼になって値上げや出荷制限をしているのではない**【繊維】

(参考) 自家用車に関連するデータ ～北陸はクルマ社会～

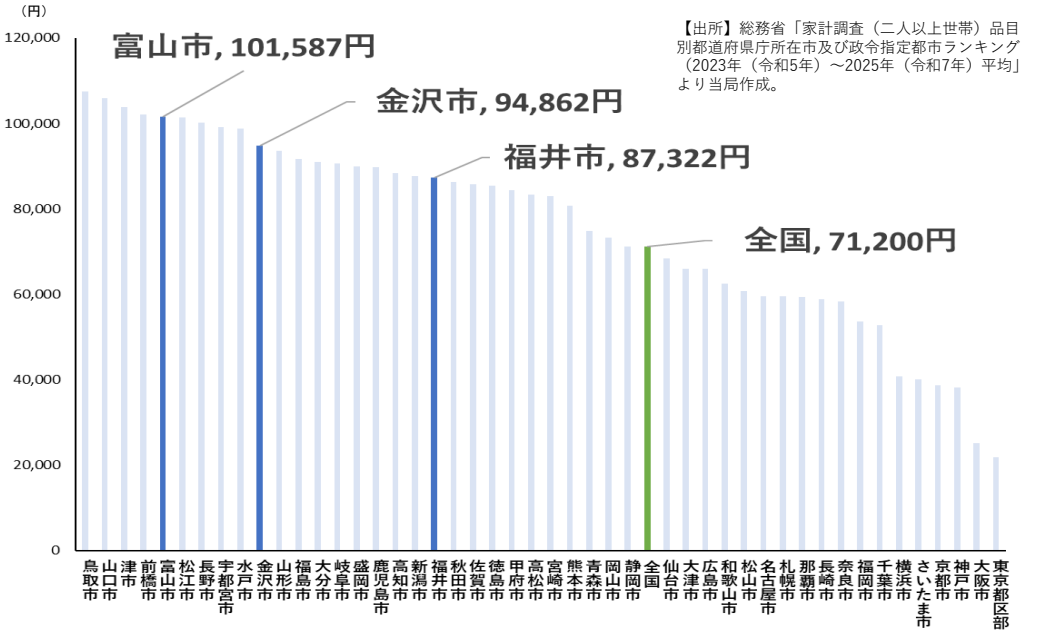
1. 自家用車の普及台数（一世帯あたり）



2. 自家用車による通勤・通学率



3. ガソリンに対する支出（一世帯あたり、年間）



○ ガソリン小売価格の推移（レギュラーガソリン、北陸）

